

の元であるインド哲学と合う」、等  
の意見をいただきました。

人間学に関心のある方は是非お越  
しくください。心からお待ちしていま  
す。

### 藤樹人間学塾 今後の予定

- 日時 (原則) 九月十八日(土)、十月二日(土)  
十一月六日(土)、十二月四日(土)
- 日時 (原則) 十五時~十七時
- 場所 (原則) 安曇川公民館

### お知らせ

#### 中江藤樹・

#### 心のセミナーの開催

コロナ禍のために延期してしまし  
た「中江藤樹・心のセミナー」を、  
別紙チラシのとおり開催いたしま  
す。入場者数の制限等、コロナ感染  
拡大防止策を講じて実施します。

★日時 九月二十五日(土)

十五時二十分~十七時  
(十四時四十五分開場)

★場所 藤樹の里文化芸術会館

★演題 「今、藤樹先生の教えを

どう活かすか」

★講師 東洋大学名誉教授

吉田公平 先生



### 「藤樹かるた」の紹介①

(企画広報委員会)

今号から、高島藤樹会・藤樹書院  
が発行している「藤樹かるた」をシ  
リーズで紹介します。

当会初代会長の上田藤市郎先生に  
よりますと、初版のかるたは、昭和  
五十八年に安曇川町教育委員会によ  
り制作されたとのこと。それま  
でに青柳小学校に、絵の無い藤樹先  
生の教えを謳ったかるたがあったそ  
うで、それに絵をつけて完成したよ  
うです。その詳細については、この  
シリーズの最後に紹介します。



### 『藤樹かるた (第2版)』

(はじめに)

高島市の郷土の先哲として敬愛す  
る中江藤樹先生の生誕から四〇〇年  
を迎えます。

先生の尊い学徳や生き方は、この  
長きにわたってもなお、多くの人に  
継承され、今の教育にも生かされて  
います。

今回、先生の生誕四〇〇年を迎え  
るに当たって協賛事業として「藤樹  
かるた」改訂版を作成しました。藤  
樹かるたは昭和五十八年三月に安曇  
川町教育委員会から刊行され、長く  
親しまれてきましたが、すでに絶版  
となっていましたので、この四百年  
祭を機に改訂版として、二十五年ぶ  
りに再び刊行することができまし  
た。

小学生や幼児の皆さんにも親しま  
れる絵柄、よく理解していただける  
内容にと心がけて改訂いたしました。

このかるたで楽しく遊んでもらう  
ことで先生の学徳や求道の生涯の一  
端にふれていただくことを心から  
願っております。

平成二〇年(二〇〇八年)三月

藤樹かるた制作委員会

(かるたと解説)

① 今もなお 書院に薫る  
藤の花



藤樹先生が愛された藤の木は、樹  
齢三五〇年を経ていた。今は二代目  
ではあるが藤樹書院一隅にあつて、  
毎年初夏に美しい花をさかせ、藤樹  
の里のシンボルとして親しまれてい  
る。

② 論よりは 車を上げる  
与右衛門さん

